口蹄疫発生を想定した実地演習を行いました

県庁畜産振興課
平成23年６月20日

平成23年6月16日、美祢市の農林総合技術センター畜産技術部において、口蹄疫防疫演習を実施し、県内外から関係者約140名が参加しました。

口蹄疫が農場で発生した場合には、本病のまん延を防ぐために素早い初動防疫作業が不可欠です。

今回、実際に農場で発生した想定で、病性鑑定のための検体採取、牛舎や通行車両の消毒、感染家畜や汚染物品の埋却作業等について、家畜保健衛生所職員や建設業者らにより実演を行いました。雨の降る中での演習でしたが、職員や見学者も熱心に参加していました。

今後も、家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、県や市町等の関係者が一丸となって取り組んでいきます。

牛からの検体の採取

重機を用いた埋却作業